

地区スローガン（奉仕・真実・喜び）の解説

本田年度・竹内年度と大きく会員増強をして頂きました。今年度は新会員が多数いらっしゃいますのでロータリーを分かりやすく簡単に説明して行きたいと思います。

私は奉仕という言葉を理解するのに入会后3～4年掛りました。私の概念では奉仕とは無償で行う活動や物販の安売り等と思っていました。そういたしますと職業奉仕はどのようにしたら良いか？たどり着いたのが**奉仕とは喜んでいただくこと（喜びを与えること）**であると思います。喜んでいただく相手は家族、社員、お客様、ロータリアン、世界の人々です。**真実とは嘘や偽装のないこと、と四つのテストの実践**であります。**奉仕（喜んでいただくこと）+四つのテストの実践=喜びで返る**であります。アーサーF. シェルドンの言葉に「最もよく奉仕するもの、最も多く報われる」があります。私は「最も喜びを与えたものは、最も多くの喜びで返る」であると思います。

ロータリーの原点と進化

ロータリーは当初ポール・ハリスと信頼できる仲間が集まり、輪番で例会を行いました。例会と親睦を重ねるうちに会員がどんどん増えてゆきました。自分達だけで喜ばず、市民の皆様にも喜んで頂こうとシカゴに公衆トイレを設置する運動を市民と共に行いました。このトイレ設置が画期的なロータリーの社会奉仕の最初の事例です。この様にロータリーの原点は奉仕と親睦であります。その後、原点は変えずアーサー・シェルドンやベンジャミン・フランク・コリンズの「超我の奉仕」ハーバードJ. テーラーの「四つのテスト」等を加えどんどん進化して来ました。現在は中核的価値観（奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ）です。以上のような原点と進化を学びロータリー活動に生かしていきましょう。

ロータリーを自ら学ぼう

クラブの活性化はメンバーの皆様がロータリーを知ることから始まるのです。

ロータリーのホームページ（my rotary 等）に、たくさんの情報や知識がございます。まだ見ていない方は是非見て下さい。きっとロータリーが面白くなります。ロータリーは教えるところではありません。自ら学ぶところあります。ロータリーを学び、実践したら間違いなく豊かで喜びに満ちた人生がおくれると思います。

国際大会のご案内

2015-2016年度の国際大会が隣国のソウルで開催されます。

2016年5月28日～6月1日です。多くのロータリアンの皆様と共に参加してロータリーの国際性を肌で実感いたしましょう。